

刊夕 日六十月二



定価 一冊五銭
発行所 常警寄新新聞社
印刷所 常警寄新新聞社

常警炭田の開発

片寄平藏 [八]

山口彌一郎

右の段明石屋次衛門様に泣きすがり岩城山旁々御出金御願申候間荷物差送り候處相場も宜敷く時節に相成存外の得分相見え金六百五拾兩程御預けに相成候間右御約定額之通元金高江御入金被成殘下金二十ヶ年賦濟方御願ひ申上度寶田屋新兵衛様相頼み御後見元兵衛様迄度々御願申上候。

處御利足御勘辨難有元利へ高金千五百六拾八兩貳分銀拾分三分の高江入金相成殘金九百拾八兩之處貳拾ヶ年賦御勘辨下候様仰聞候處押而御願候は御立腹之程奉忍入一先御請致殊に百日も相掛り候處借財利揚迄には百兩金も相掛り其上暮方致候様中々行届き兼尤も壹兩年之事候は又工風も致方可有之候得共永年之事に候得ば逆茂行届き可申様無之此上相滞り候ては面向け不相成様相可申奉存存猶又明石屋治衛門様方相頼み先に寶屋新兵衛

様を以て御願ひ申上候通年々金貳拾兩づつ濟方御勘辨被下候不得共止事元兵衛様へ御願申上候處六月中御勘辨被下候より外御勘辨不相成趣御断に相成當惑仕候前申上候太郎助衛門様孫右衛門様御存命に候得ば三ヶ年之内多少共入金相成候て無相違年賦御勘辨被下候管御約定之事故聊も心配無之乍

ノット

餅のかびを除くには酒樽に入れておくか又は酒かす一つかみを袋の中に入れて餅の中におくとかびません

去右様申上候而茂別段證據も無之候得共新兵衛様は薄々御承知も可有之奉存候猶又三ヶ年之間諸事庄之助より被成下御渡相成候程の事故相違有之間敷奉存三ヶ年之内内元借財にて暮所致居候御店様の手振宜敷致年賦御勘辨を力に精々仕候處御勘辨不相成候ては地元不實致候様に相成候て實に立行難相成次第程に及候ても御厚恩に可報様無之就て

は元來秋田下りの砌り御本店様御評議之上御開濟相成御出金被下候事故此度は必死難澁之次第故是非御集評御願申上度何卒格別の御憐愍を以て願上通御開濟被下候て御厚恩難有仕合に奉存候たとへ出精致荷物差送候様仕度

- 明日の献立
- 味噌汁 玉ねぎ
- 豚肉生姜やき
- ピフテーキ

候間乍據事御勘辨奉願上候申上候儀は奉忍入り候得共岩城荷主方何れも近來の取引にても多分損分被成候方は年賦御勘辨相成り其上仕入金も御出金に相成り荷物は諸々問屋へ差送り候ても御勘辨に相成居候次第私に限り候ては板一枚外問屋江送り候事も無之不實ケ間敷儀は一切致候覺無之乍去若不實之廉も之有覺召不相計儀御座候は爲御慈悲無御遠慮御咄り被下候様奉願上候、私代相成候ても出入二十二ヶ年に相成候間店內同体思召被下惡儀有之は被仰聞被下候て改心仕相候間御勘辨成下年來の功を思召し今一應御すくへ被下候様偏に奉願上候右差當り候故

相認め候事故御立腹之廉も有之は平に御勘辨奉願上候。以上
已十一月八日
奥洲岩城大森村
古川屋平藏

耳咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇番

日本に唯一つ
魂の這入つた

東京工場

聯盟の自轉車

指定販賣所 **フタバ商會**
平新川町・橋際

難波 波 陸

内科一般

醫學博士

平町大町新川端
電話五〇二

新築感謝

萬年筆大賣出

舊二日よ景り品呈上

記念金文字御名人無料
お氣に召す迄金ペン交換

五ヶ年絶對責任付
定價二圓以上
品種豊富

平紺屋町角公園前
佐々木商店
電話二三三番

今流行のレコード

東京音頭
昭和音頭
福島音頭
萬歳音頭
スキー行進曲
希望の首途
春のエレチー
急げ幌馬車
ピクチャー特約店
コロンビヤ

平町五丁目
金光堂時計店

何卒御用命は
電話 一五九番

木炭の!

御用命はお客様本位に勉強する

「電話二四四番」

多少に拘らず早速御届け致します

平一丁目
市原商店

設立明治廿八年
基礎堅實

有給社員數名募集

男女ヲ問ハズ奮闘家ハ來タレ
固定給及月收多大希望者ハ午前中來
談アレ面會ノ上相談ス。

共保生命保險株式會社
磐城監督所

所長 **福島健之**
平町白銀町一〇

警東代理店 主管 加藤 丈夫
平代理店 主管 金子 豊吉

昔を今にしのぶ 初賣りの賑ひ

商店街に五萬の人波を吞吐 賣上勘定四五十万

『平五萬石』御城下町華やかなりし頃の昔を今に偲ぶ傳統的な目出度い行事である昨日の舊正二日初賣りはカラリと晴れて風や、冷たいが絶好の『初賣り日和』に恵まれ本町通り一流商店では早くも午前零時頃から開店して

客を待つ たが何故か今年は例年に比し人の出足遅く各商店とも午前十時頃までは頗る閑散を極めたが十一時頃になると流石に物凄じかりの人の波に本町通りは身動きも出来ない位で近郷近在から押掛けた人々と赤穂、赤鉢巻の商人との取引は

各商店に霑した金は約四、五十萬圓と稱へられてゐる尙平町の
二映畫館のマチネーは三館とも午後一時早くも大入満員の札を掲げて舊正月の買初客を完全に吸収した態であつた

高潮して 喧騒のマキシマムに達しまるで喧嘩腰それでも買はねばならぬと見えて溢々と取出す財布、オ、匡救事業と米價昂騰、大漁景氣、炭礦景氣……に恵まれた近隣

町村民の 財布の何んと重いコトカ——かくて人の波は薄暮五時頃まで續き商人連の怒鳴る聲の濁れる頃は漸く人影まばらとなり六時過ぎの本町通りは一日の商戦に亂された商店の

町農會役員會 平町農會では来る十八日午後一

鐵道新計劃

自動車に挑戦

ガソリンカーを運轉

平町を中心とする石城郡内乗合自動車網は最近益々發展を極めたために鐵道はこれに乘客を奪はれ平、湯本、綴、赤井、小川、四倉の各驛は収入の激減を來したの

家畜の

傳染病豫防

縣衛生課では家畜傳染病豫防の普及を圖る爲め左記日割で普及映畫會を開くと

二月廿四日大浦 廿五日小名濱 廿六日勿來

各訓導研究會 石城郡第三區第一部各小學校教員の研究會は明日内郷高坂校に於て開催されるが當日

は午前八時半より十時迄自由參觀十時半より十一時迄

同校浦山訓導の地理科研究教授終つて午後一時より批評あり同校田子訓導の新典

林野組合の表彰

けふ總會を開いて

既報石城林野保護組合では本十六日午前十時より平署會議室に總會を開き縣下聯合林野組合總會への提出議案を協議後優良組員として左記七十六名を表彰した

- (夏井) 鈴木元義 大田清太郎 阿部義視 根本芭憲 鶴沼末吉 木田清渡邊師喜衛(小川) 齊藤貞三 萩野重勝 石井平吉 箱崎徳一 吉田田吉 國井金一 草野重松 鈴木義治(澤渡) 加藤榮枝 阿部増雄 草野幹雄 佐藤與一(平窪) 鈴木義重 阿部初彌 小野順平 猪狩作平 木田信市 岡部久喜 松崎敏信 小野清一(飯野) 田藤秀彌 若松廣充 丹野一實 草野利吉 鈴木竹男 山崎明勝 白土專壽 小泉久吉(鹿島) 渡邊田市 石井信行 矢吹録 八代正行 橋本啓太郎(上小川) 關口徳八 國井勝藏(三坂) 田子四郎 治 會田増次郎 白石四郎 熊谷助男 松崎傳太(神谷) 佐藤儀三郎 鈴木

鑛區稅未納

近く差押へ

平稅務署管内昭和九年度採掘鑛區稅は調定額二萬六千二十八圓六十錢(百一件)で昨年末が納期となつてゐるが現在未納七千五百圓に上つてゐるので近く鑛區を差押へると

店員募集(二、三名)

十五、六才より十八才迄希望者は至急御來談あれ
小力式極東蒸氣製造元

小鍛冶兄弟商會

主 小鍛冶 永助
福島縣平町三丁目二二
電話 三三三番

市原醫院

平町田町(電話二一四番)

- 内科 小兒科 市原卯太郎
- 外科 一般、婦人科 市原陸郎
- 外科 梅毒、淋病 市原三三男
- 入院隨時

御融通には!

是非御利用を……。

萬事便利な御相談に應じます。

三井賣店

平四、電六〇六番

第一回は本日午後一時より開催した
平町人事
回出生
△一丁目三三 塚田光雄氏
長男正雄
△白銀町三九 井上義彦氏
二女淑子
回婚
△茨城縣多賀郡日立町宇宮 田落合勇次郎(三四)古鍛冶 治町一、二大野アサ(二九)

印刷御用命は總て印刷日每警常
會社式刷印日每警常
番〇三六話電

母子連れで

万引を働く

制服の處女も二名

警戒中の私服に捕る

中である

平署では昨正月二日の買初めに難路する市内大商店其他を全署員が私服で警戒中三丁目大黒屋洋品店内からシャツを万引せんとした草野村大字下神谷字澤目木二〇中根サト(一)同人次女トミ(二)次男勇(三)いづれも假名といふ親子連れれの犯人を檢舉した外四丁目鶴屋洋品店内で現金七圓を窃盗せる市内某私立女學校一年生加藤カメ(一)同佐藤カヨ(二)假名等の者を檢舉取調

雑踏中に

少年スリ捕る

別項昨初買り當日四丁目鶴屋洋品店内で買物中であつた客のオーバ右ポケットから現金六圓二十三錢在中の財布をスリ取つた小名濱町活動寫真館前通り料理店金波樓方使用人水澤政男(一)假名を檢舉したが餘罪四件十八圓餘のスリを行つて居た事發覺した

禁酒申合

入遠野村で

入遠野村では農村青年の自力更生への精進を示すべく禁酒組合の組織を計畫中

牛一頭横領

交換の口實

湯本町字三函八六農武田倉之助(五)は去月中磐崎村大字上湯長谷字五反田猪狩安貞に對し同人所有雄牛一頭時價九十圓を種牛と交換してやると稱して預つたのを平町田町深谷牛肉店へ三十圓で賣却し代金を横領せる事發覺目下平署で取調中

通信上の

相談引受

平郵便局では一般公衆の便宜を計るため此程窓口に通信相談所を開設した

保母養成試験

縣社會事業協會保母養成所の生徒募集試験は來月廿六日同所で行はれるので本日平町

役場へもこれが告示方を依頼して來たが定員は十名、資格は高女卒業程度、申込期日は三月十五日迄である

深夜に

娘を襲ふ

痴漢收容さる

平検事局では昨日双葉郡浪江町大字高瀬字西原一七大工職原田秀雄(三)を召喚刑務所に收容し三堀檢事係りの下に取調べを行つてゐるが事件の内容は去る十二日午後十一時半頃買ひ物に出た同町料理店古川太二郎氏方佐々シノ(一)さん假名を町はづれの高瀬橋附近に於て押倒し暴行せんとしたのが果さず全治數日間を要する傷害を與へたもので本日被害者シノさんを出し取調べを行つた

火葬増加

三ヶ年に八百名

平町火葬場昭和六年より八年迄の三ヶ年間に取扱つた火葬数は合計八百十八人で年々増加の傾向を示し料金は昨年度のみでも千六百七十七圓に達すと

銅線賊を

協力逮捕表彰

内郷村字御厩木田正夫(一)高木繁夫(二)高木季治郎(三)の三名は去月中銅線窃盗犯伊藤勇治の犯行を其の筋に速報し協力逮捕した功に依り十四日付を以て警察

明日の予報
今晩も明日も北西の風晴曇半す

今晩の部
後六〇〇 子供の時間
童謡とピアノ「金の鈴」
ども會一件奏長谷川空二
後六二五 ことばの講座
「第十講」鼻をばつて發音
神保格
後七三〇 講演「滿洲を語る」名古屋高等商業學部部長より表彰された

警女の運動場から

多数の土器を發掘

目下鑑定中

平町城山警女教諭酒井英吉氏長男警中三年生英世(一)君は考古學及び化石の研究に興味を持ち過般來警中の高清水警女の山口兩教諭指導の下に研究中の處去る十四日櫻ヶ丘警女運動場附近より多数の土器類を發掘目下鑑定中であるが管轄警中附近の高月臺より曲玉土器石器等發見された事あり日本石器時代地名表にも採録されてゐるが櫻ヶ丘よりの發見は之れが最初であると

裁判所たより

▽双葉郡浪江町大字權現堂字小倉三七 日雇目黒寅雄(一)は去月二十四日自宅に於て姉の夫日吉達明氏に意見され顔面を殴打されたのを憤り所持した短刀を以て同人の左前腰部を刺通し

明日の部
前七〇〇 基礎獨語講座(十八)橋本忠夫
前九一〇 料理献立「オイスター・シニョール」
前一二〇 家庭講座「編物」五 山脇敏子
後〇〇五 琵琶
後五〇〇 醫學講座「妊娠中に起り易い病氣と其手當」醫學博士竹内茂代
後六〇〇 子供の時間

平職業紹介所報告

- 回人を求める方
△女中 二十前後 尋卒
月七八圓
- 外面談
△雜役 二十五迄 月十圓
- 外面談
△外交員 五十迄 尋卒
- 給料面談
△女中 三十五才 尋卒
月三圓
- △トラック助手 二十三才 尋卒 月十圓
- 回職を求める方
△賣子 三十二才 尋卒
- 給料面談
△製糸女工 十七才 高卒
- 給料面談
△旅館番頭 二十八才 中卒 給料面談
- △鍛冶工 三十五才 高卒 給料面談
- △土工 三十七才 尋卒 給料面談

連續童話劇「あつたはた」(第二日)出演大阪童話研究会
後七三〇 時事解説
後八〇〇 ラデオドラマ「雄々しき妻」藤野良一外 數名
後八四〇 東都劇場新風景(四)新橋演舞場より中繼「お染の七夜」第一場
小梅「蕪見世の場」中村進五郎外大勢 第二場
瓦町油屋店先の場助高屋高助外大勢

長唄
花柳流
舞踊
御寄古
おすしめ
おすしめ
おすしめ
花柳流舞踊
研究所
花柳徳三郎
杵屋十茂代

木村外科醫院
門專科病柳花外
院醫科外村木
際橋目丁五町平
〇九三話電
りあ便の院入炊自

銘劍秘刃録

【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第一百五十八回

徳川家に崇る村正

悪運の強い男

娘「お父さん、何でせう彼處へ流れて来るのは」
父「そこの、何か流れて来るの……ヤ、人だんだ、川流れた、可哀想に助かるものなら助けてやらう」
と六十ばかりの老人だがガツシリした身体、若い者も凌ぐやうな元氣で岩の端へ出て藤蔓を左手に握り右の腕を延して流れて来た男の襟元を引ツつかみグイツと引上げた、岩にでも當つたのだらう、眉間の邊りに大きな疵、前歯を打ち欠いたので、口中から夥しく出血してゐる

や腹をさすり、水を吐かしてゐる中に、娘が枯木を集めて来た、ドン／＼火を焚いて身体を暖め、親子が親切に介抱してやると「ウー、ウー」と唸り出した父「ヤレ／＼宜い鹽梅だ、旦那様、お武家様、しつか



誤つて水中へ落ちたが、悪運強くも此處で老人親子の爲に救はれました、五左衛門がつく／＼親子の者を見ると驚いた、爺は爺でいゝ娘の方は男だか女だか分からない、イヤ人間だか化物だか分からないといふ方が近い、大体餘り顔立のよくない處へ抱瘡にかゝつて、一層悪くした、それに山家育ちだから、色は眞黒、髪の毛も藤蔓か何かでチヨイト束ねてあるといふだけの事だから、翻婦番附が出来れば大關にならうといふ女、ジツと顔を見られて五左衛門ブルブルとふるえた

父「私は葦尼村といふ處の獵師と百姓をしてゐる者で私は茂兵衛、娘はおちかと申します」
五「左様であるか、私は旅の武士だが、この山奥にて山賊に出逢ひ一人二人は斬り捨てたが、何分大勢に無勢、殊に案内知らぬ山道のことゝて足を踏み外して谷川へ落ちたが、それより先は知らぬ、お前方に助けられたのはこの上もない幸、九死に一生を得るとはこの事であらう、お前方親子は再生の大恩人、この恩は生涯忘れぬ」

五「イヤその様に厄介になつては申譯がない」
范「とにかく私は一足先へ歸つて仕度をしておきますから、旦那様は娘と一緒にごゆつくりお出で下さいませ、おちかやお前旦那様をお連れ申して」
五「宜しうございます、旦那様は私が介抱しながらお連れ申します」
茂「では旦那様、一足お先と茂兵衛といふ親切者ド／＼行つて終ふ」
五「旦那様、お手を取ります」
五「イヤ添けない」
と言つたが心中餘り面白くない。

娘「お父さん刀を抜いて持つてゐますよ」
父「それちや大方旅のお武家で山賊にでも出逢つて斬り合つてゐる内に谷川へ落ちなすつたのだらう、ドコイシヨ」
と岩の上へ引上げ懐中へ手を入れて見て

りなさいまし」
バツチリ眼を開いて不審そうに四邊を見廻してゐたが、やがて正氣に復したらしい、これは例の溝口五左衛門、源太郎の爲にはげしく斬り立てられ、谷川を飛越して逃げようとした處、

五「どうか命は助けてもらいたい」
父「もう大丈夫だから御安心なせえまし、貴所が流れて来なすつたから娘と二人で助けて上げましたので」
五「それは大、添けないお前方は何處の者だ」

私共も骨折甲斐があつて大喜びです、先刻も娘と話した様に、山奥には悪い山賊があるから、大方そんなものにお逢ひなすつたらうと當て推量を致して居りました、それが當りました、まあ今から何處へお出でなさるといつても大變、とにかく私共へ来てお泊りなさい、汚ない處で何もお構ひも出来ないが雨露だけは凌げます」
五「イヤきれいも汚いもない、何分宜敷しく頼みます」
ち「それにお父さん、旦那様は大分お怪我もして居りますから、疵の手當をして差上げたり、お召し物なども洗濯をして差上げませう……」

茂「そなた、よく氣が付いた、娘の言ふ通り、召し物の洗ひ張り、縫ひ直しなどして、それから旦那お立ちなされる方がよろこびます」

ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈魚の子

魚問屋
店理代平命生本日本最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

美味で！
評判の……
イワキ
サロシ
電 352

理想の治淋薬出現す

一般賣薬、熱療器類に不満を感じた患後の良薬として本薬を紹介いたします。
●本薬は有り觸れた白檀油系統の平凡薬でなく、独自の注射原薬を主剤とし外に洋薬及漢薬數種の特效成分と利尿薬が配合され特に胃腸腎臟障害等の副作用を絶無ならしめた安全薬で又錠劑で有ります。

強力殺菌内服注射原薬配合

ザロス
消渴 淋病

分用	¥2.00
用症	¥3.00
軽症	¥5.00
重症	

◎發賣元不二藥品商會
平町田町(松月堂向イ)

特約店 阿部薬舗

新車御披露

三十四年式「デラックス、セダン」入車致しました。貸切の御用の節は是非御試乗を御願ひ致します。

最新型セダン揃ました

電話六四〇番

尼子タクシ